

- 1 クラス代表に選ばれた。うれしい。でも、当日は入院した祖母の見まいに行く約束もある。ぼくはカレンダーを見つめたまま、どちらにも返事ができなかった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、ぼくの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 二つの大切なことの間で 迷う 葛藤
- ② 代表が いやで たまらない
- ③ たいくつで 何も 考えたくない
- ④ 祖母が きらいだ

こたえ

- 2 妹は、初めての発表会で、ずっとにこにこしていた。母は客席で、何度もハンカチをにぎり直していた。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

客席の 母の 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① むすめの晴れ舞台を、はらはら 見守る 緊張
- ② 発表会が たいくつだ
- ③ 妹を うらやましく 思う
- ④ おなかが すいて 帰りたい

こたえ

- 3 テストが返ってきた。満点のけんじは、机の下でそっとかぶしをにぎった。となりのぼくは、答案を見ないように、そっとかばんへしまった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

けんじと ぼくの 気持ちの 組み合わせに 近いものは どれ？

- ① けんじ=よろこびをこらえる／ぼく=見たくない落たん
- ② けんじ=たいくつ／ぼく=うれしい
- ③ 二人とも おこっている
- ④ 二人とも ねむい

こたえ

1 こたえ：① 二つの大切なことの間で 迷う 葛藤

手がかり：うれしい一方、見まいの約束もあり『どちらにも返事ができない』＝相反する二つの間で迷う葛藤。

2 こたえ：① むすめの晴れ舞台を、はらはら 見守る 緊張

手がかり：にこにこは妹。母は『ハンカチをにぎり直す』＝娘を見守るはらはら・緊張。だれの気持ちかを取りちがえない。

3 こたえ：① けんじ＝よろこびをこらえる／ぼく＝見たくない落たん

手がかり：けんじはこぶしをにぎる＝喜びをこらえる／ぼくは答案をかくす＝見たくない落たん。二人の対比を読む。

- 1 わざとではないけれど、ぼくのけった石が、花だんの芽を折ってしまった。だれも見していない。でも、その場所を通るたびに、むねがちくりとする。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、ぼくの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 悪いことをした、という 罪の意識
- ② 花なんて どうでも いい
- ③ うれしくて 仕方がない
- ④ たいくつだ

こたえ

- 2 同じ日に習い始めたのに、友だちはもう次の級に進んだ。わたしは、まだ同じ級のままだ。友だちの合格を、うまく「おめでとう」と言えなかった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 自分がおとって見える 劣等感
- ② 友だちが にくらしい
- ③ 合格なんて どうでも いい
- ④ うれしくて たまらない

こたえ

- 3 「べつに、悲しくなんかない」。転校のあいさつで、みきはわらって、そう言った。でも、教室を出て角を曲がったとたん、足が止まり、うつむいた。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

みきの 気持ちは、みんなの前と、一人になった後で どう 変わりましたか。

- ① 強がり → こらえていた 悲しさ
- ② いかり → 安心
- ③ たいくつ → よろこび
- ④ こわい → うれしい

こたえ

1 こたえ：① 悪いことをした、という 罪の意識

手がかり：だれも見えていなくても、その場所を通るたび胸がちくり＝自分が悪いという罪の意識・罪悪感。

2 こたえ：① 自分がおとって見える 劣等感

手がかり：友だちは先へ、自分は同じ級／素直に祝えない＝にくしみではなく、自分がおとって見える劣等感。

3 こたえ：① 強がり → こらえていた 悲しさ

手がかり：みんなの前では笑って強がる→一人になると足が止まりうつむく＝こらえていた本当の悲しさが出る。

- 1 明日から、新しい学校。新しい友だちができるかな。ちゃんと やっていけるかな。
ゆうたは布団の中で、なかなか目を閉じられなかった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、ゆうたの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 楽しみと 不安が 入り混じった 気持ち
- ② 新しい学校が いやで 仕方ない
- ③ たいくつで つまらない
- ④ とても ねむい

こたえ

- 2 兄が、遠くの大学へ旅立つ朝。母は「りっぱになって」と何度もうなずきながら、目もとを、そっとおさえた。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

この時の 母の 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 子の成長を 誇りに思う気持ちと、はなれる寂しさ
- ② 兄が きらいに なった
- ③ 旅行に 行けて 楽しい
- ④ たいくつだ

こたえ

- 3 助けを呼びに、力いっぱい走った。けれど、まに合わなかった。ぼくにできることは、何もなかった。にぎったこぶしの中が、じんわりと熱くなった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、ぼくの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 何も できなかった、という 無力感
- ② うれしくて 仕方ない
- ③ おなかが すいた
- ④ たいくつだ

こたえ

1 こたえ：① 楽しみと不安が入り混じった気持ち

手がかり：『友だちできるかな／やっていけるかな』の両方＋なかなか眠れない＝期待と不安が入り混じる。

2 こたえ：① 子の成長を誇りに思う気持ちと、はなれる寂しさ

手がかり：『りっぱになって』とうなずく誇り＋目もとをおさえる＝別れの寂しさ。二つの気持ちが同時にある。

3 こたえ：① 何もできなかった、という無力感

手がかり：走ったが間に合わず『できることは何もなかった』／こぶしがじんわり熱い＝自分の無力さへのくやしさ・無力感。

- 1 初めての、一人でのおつかい。母から千円をあずかった。ドキドキするけれど、わたしは「いってきます」と、げんかんのドアを、しっかり開けた。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 不安を感じつつも、やりとげようとする 決意
- ② おつかいが めんどくだ
- ③ こわくて 泣きそうだ
- ④ たいくつだ

こたえ

- 2 昨日、あんなことを言うんじゃないかった。今朝、いつもの角で、その子に会った。目が合ったのに、どちらからも、言葉が出てこなかった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① あやまりたいのに 言い出せない 気まずさ
- ② その子が にくらしい
- ③ うれしくて 仕方がない
- ④ たいくつだ

こたえ

- 3 リレーの選手発表。名前を呼ばれたあおいは、飛び上がってよろこんだ。呼ばれなかったそうたは、あおいに「おめでとう」と言って、口をきゅっと結んだ。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

そうたの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 祝いながらも、選ばれなかった 悔しさを こらえる
- ② あおいが にくらしい
- ③ リレーに 出たくない
- ④ とても ねむい

こたえ

1 こたえ：① 不安を感じつつも、やりとげようとする 決意

手がかり：どきどき（不安）しつつ『いってきます』とドアをしっかりと開ける＝不安を抱えたまま前へ進む決意。

2 こたえ：① あやまりたいのに 言い出せない 気まずさ

手がかり：『言うんじゃなかった』と後悔／目が合っても言葉が出ない＝あやまりたいのに言い出せない気まずさ。

3 こたえ：① 祝いながらも、選ばれなかった 悔しさを こらえる

手がかり：『おめでとう』と祝う一方、口をきゅっと結ぶ＝選ばれなかった悔しさをこらえる。飛び上がるのはあおいの喜び。

- 1 まい子だと思っていた弟が、サービスカウンターで泣いていた。かけよってだき上げたわたしは、ほっとすると同時に、大声で名前を呼んでいた自分に気づき、少し顔が熱くなった。

★ 気持ちが分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの気持ちにいちばん近いものはどれ？

- ① 見つかった安心と、さわいだ自分への気恥ずかしさ
- ② 弟がにこらしい
- ③ たいくつだ
- ④ とてもねむい

こたえ

- 2 町の図書館で、いつも本を整えている司書さん。だれも見ていない棚のすみまで、ていねいに直していた。わたしは、ああいう大人になりたい、と思った。

★ 気持ちが分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの気持ちにいちばん近いものはどれ？

- ① その人のようになりたい、というあこがれ・尊敬
- ② 司書さんがきらいだ
- ③ たいくつだ
- ④ おなかがすいた

こたえ

- 3 苦手な算数を、放課後、先生が毎日つきあって教えてくれた。テストで初めて百点をとった日、わたしは「先生のおかげです」と言い、心の中で、次は自分の力で、とちかった。

★ 気持ちが分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの気持ちにいちばん近いものはどれ？

- ① 支えへの感謝と、次は自力で、という決意
- ② 算数がきらいになった
- ③ 先生がにこらしい
- ④ とてもねむい

こたえ

1 こたえ：① 見つかった 安心と、さわいだ自分への 気恥ずかしさ

手がかり： 弟を見つけてほっと（安心）＋大声を出した自分に気づき顔が熱い（気恥ずかしさ）。二つが同時にある。

2 こたえ：① その人のようになりたい、という あこがれ・尊敬

手がかり： だれも見えていない所までていねいな姿を見て『ああいう大人になりたい』＝あこがれ・尊敬。

3 こたえ：① 支えへの 感謝と、次は自力で、という 決意

手がかり： 『先生のおかげ』（感謝）＋心の中で『次は自分の力で』（決意）。感謝から前を向く気持ちへ。